

LG Electronics Japan Lab 株式会社様



User Profile

LG Electronics Japan Lab 株式会社様は、家電・電子機器の分野でグローバル展開をしているLG Electronics Inc.の日本における研究開発拠点です。スマートフォンにおいては、日本を熟知した品質基準を持ち、徹底したローカライズを行い、isaiのように先進的なUIやG Flexのような革新的な製品の開発に貢献しています。



LG Electronics Japan Lab 株式会社
MC Team Manager 宮澤氏

「長期的に継続して品質向上していける 検証パートナーが必要でした。」

検証サービス導入の背景についてお聞かせください。

日本参入当初は自社リソースで検証業務をしていましたが、日本での採用モデルが増えていくにつれ外部の検証会社に委託するようになっていきました。FeliCaの接続試験やドキュメント作成等をスポットで委託していましたが、スポットの依頼では予算の交渉や作業指示などの作業が何度も発生し、効率が悪く、品質もなかなか安定しませんでした。

特に日本は品質要求レベルが非常に高く、LGとしても徹底したローカライズが必要だと考えていました。

そこで、日本の品質基準に精通していて、長期的に継続して品質向上していける検証パートナーが必要でした。

「操作だけ自動にしても、 結局、人が判断するのであればミスや 曖昧さが出てしまいますから。」

他社のサービスもあるなか、 なぜ日本ノーベルを選ばれたのですか？

検証会社を何社も調べましたが、日本ノーベルからの提案にはQC(Quality Commander)による自動化があり、目を引きました。操作を自動化するだけであれば、韓国や日本にも自社作成ツール等がありましたが、判定まで自動化できるところが良かったです。操作だけ自動にしても、結局、人が判断するのであればミスや曖昧さが出てしまいますから。また、シナリオを作っ

えば、それを流用して蓄積していけるので、長く続けることで効率化ができるのではないかと思いました。

実は、日本ノーベルの提案を聞くまでは他の検証会社を推していたのですが、QCが決め手となって導入することになりました。もちろん、予算の面も重要な選定基準になっています。

「韓国のエンジニアからは、品質に 厳しすぎるとぼやかれることも・・・」

導入後、問題は改善されましたか？

QCなら24時間文句も言わずにフル稼働してくれますし、発着信確認等基本動作の検証では特に活躍してくれました。今では基本動作は十分に安定していますので、日本ノーベルには新機能の検証や日本語検証等のローカライズ対応、お客様(通信キャリア)と韓国本社とのブリッジ役に力を入れてもらっています。日本人に使いやすいUIの作りこみや、ワンセグ等、日本特有の機能やアプリ、キャリアのオリジナル機能など韓国本社では伝わりにくい機能やそれに関わる品質 이슈がありますので時には韓国の開発エンジニアと熱くなる時もありますが、粘り強く対応



写真に写ってる端末は全て日本ノーベルが検証に携わったもの

してもらっています。韓国のエンジニアからは、品質に厳しすぎるとぼやかれることも・・・。

例えば、開発側ではできるだけ世界標準の仕様にしようとするのですが、日本ノーベルの使い込み試験の中でキーボードの「句読点」の配置に違和感があるという指摘がありました。当初、開発側は変更し難色を示していましたが、説得して日本人が入力しやすいと感じるキー配置に変更してもらいました。こういったこだわりと言うか、意識があるので厳しいキャリアの要求基準やスケジュールを守れるようになったのだと思います。

「見る人と立場によっては 作業内容が見えにくい部分もある」

提供されるサービスについて、
課題などありましたらお聞かせ下さい。

日本ノーベルで日々、MantisBT(バグ管理システム)を管理し、問題対応をしてもらっています。検証レポートや、毎週の進捗報告会に加えて、プロジェクト毎にラップアップをしてくれるので、韓国本社と日本支店の開発現場ではとても評判がいいです。

ただ、韓国本社の組織も大きく、見る人と立場によっては作業内容が見えにくい部分もあるのでレポート形式等の工夫を頑張ってもらいたいと思います。

「新技術に素早く対応しつつ長期的な 視点で品質向上していきたい」

今後の展望などを、お聞かせください。

少なくとも2018年頃まではネットワーク側の変化が続くと見えていますので、それに応じてプロトコルやUI等もどんどん変わっていくと思います。日本ノーベルのフットワークで新技術に素早く対応しつつ長期的な視点で品質向上していきたいと思います。

LGは世界で売れた端末を単純に日本に持ってくるだけではありません。日本向けローカライズのために、積み上げてきた品質ノウハウに加え、様々な実網環境での独自検証や、年代別、性別でのユースケースを想定したテストパターンの構築などを行っています。

日本でやるべきテストに特に注力し、今後も日本のお客様に満足していただけるスペック、機能、品質を実現していきます。

日本ノーベルの 自動化第三者検証サービス

日本ノーベルが蓄積した自動化ノウハウを駆使して、第三者検証を行うサービスです。設計もできる経験豊富なSEが対応。MantisBT, Redmine, Jenkinsなど様々なツールを活用し、テスト設計からテスト実施までを行います。



検証は日本ノーベル(東京)およびお客様サイトで行います。

※記載されている会社名、製品名は、一般に各社の商標もしくは登録商標です。